

# 男子 AB ブロック対抗戦『感染対策要項』

2020年9月25日

関東学生ゴルフ連盟

感染対策委員会

## 目次

はじめに・・・基本的考えと加盟員、関係者の心得について	2ページ
1、検査方法とそれに対する諸注意事項	3ページ
①唾液採取による PCR 検査の内容説明	
②-1 検査方法タイプ1・・・学連事務所にて PCR 検査を行う *所在地が都内近郊にある大学	
②-2 検査方法タイプ1・・・検査時における手順と注意事項	
③-1 検査方法タイプ2・・・「PCR 検査キット」を送付&返送する *所在地が他県、都心から離れている大学	
③-2 検査方法タイプ2・・・検査時における手順と注意事項	
③-3 検査方法タイプ2・・・検査後、採取した検体の返送手順と注意事項	
④検査結果判明通知（陽性・陰性）について	
2、試合当日の会場入場時における感染対策チェック項目	7ページ
①入場時の流れの説明と提出義務書類について *入場を許可されないケースについて説明	
②注意すべき服用薬について	
③入場チェック前に必ず守って頂きたい約束事→チーム責任者へのお願い	
3、試合終了後の帰る際と、帰る道中について	8ページ
①帰る際の注意事項	
②無事に自宅に着くまでは適度な緊張感をもって、安全運転に努める	
4、その他の諸注意事項	8ページ
①試合中、体調に異変をきたした場合	
②試合終了後の自制的な生活遵守のお願い	
③ <b>正当な事由で、検査日に検査が受けられない場合</b>	9ページ
④「体調管理チェックシート」の開始日	

はじめに

選手、関係者の皆さま

コロナ禍での試合開催にご理解とご協力の意を示して頂き、誠にありがとうございます。

今回の対抗戦開催に際して、「感染対策」の基本的考え方は、本連盟がご提示させて頂いた「ガイドライン」に沿って活動して頂くことが全てのベースとなっております。

その為、試合中はもとより、普段の生活においても（特に試合の2週間前、2週間後）、

「ガイドライン」を遵守した行動を徹底して頂くことが大前提となっております。

\*今一度、この「ガイドライン」を読み返して頂き、ご理解を深めて頂ければ幸いです

「With コロナ」における、今後の新しい生活様式、新しい競技スタイルを求められる今、そこに携わる全ての関係者が共通の目線を持ち、自制的で理性的な姿勢をもって、この対抗戦に臨んで頂き、大会の円滑な進行と成功をおさめることができますよう、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

関東学生ゴルフ連盟  
感染対策委員会責任者 金井 毅  
感染対策委員会一同

## 1、検査方法とそれに対する諸注意事項

### ①唾液採取による PCR 検査の内容説明

今回は上記にあるように唾液採取による PCR 検査を、(株)キャピタルメディカ様、チームメディカルクリニック様のご協力により、実施させていただきます。

その検査方法は、以下の 2 つの形 (タイプ 1 とタイプ 2) で行います。

基本は、所定の容器に、当該選手、関係者の唾液を採取し、それを所定の検査機関にお渡しする。または、送り返す！という、迅速かつ簡素化された最新の検査方法で、検体が検査機関に届いたら、その当日に判定が出ます。

検査精度が向上し、検査時間 (待ち時間含む) も軽減されます。

**\*検査費用に関しては、登録選手全員と主務 1 名 (またはそれに準ずる者) までは、本連盟が費用負担させていただきます。(交通費実費は、各部内費でご負担下さい)**

なお、自身の大学に附属病院などが存在し、格安 (税込 9000 円より安価) で競技 3 日前に PCR 検査が容易に受けられる大学に関しては、予め (10 月 13 日までに) 学連事務所までご連絡下さい。その際の検査費用は、立替えて頂き、大学単位で後日精算とします。但し検査判定証明 (陰性証明) は、10 月 23 日までに学連事務所に提出すること (FAX 可)。  
**\*税込 9000 円を超えたとしても、本連盟からの負担額は税込 9000 円までとする。**

**指導者の方は (但し帯同 1 名まで) その分の費用負担はご本人負担とさせていただきます。**

今回、本連盟が主導する検査を受けても構いませんが、その費用は後日、本連盟よりご請求させていただきます。(税込 9000 円)

勿論、指導者の方が、この検査方法ではなく、別の医療機関で検査を自費で受けても構いませんが、(但し、競技 3 日前以内) その際は、その判定証明 (陰性証明) を、入場時にご提出を必ずお願い致します。

### ②- 1、検査方法タイプ 1・・・学連事務所にて PCR 検査を行う

**\*所在地が都内近郊にある大学**

対象校：A ブロック 専修大学、日本体育大学、中央学院大学、明治大学、  
B ブロック 駒澤大学、法政大学、中央大学、慶應義塾大学、立教大学、  
東海大学、東京国際大学

上記の大学は、10 月 22 日 (木)、10 月 29 日 (木) 所定の時間帯に、学連事務所 (千代田区神田三崎町 3-9-3) に、大学チームでまとまって来て頂き、そこで検査を受けて頂きます。 \*検査の所要時間は 1 名当り 3~4 分程度

予約制とし、下記の予約時間リストを確認し、大学としての希望時間（第一希望、第二希望明記）をエントリー時に提出（検査予約希望欄に記載）。重複した場合、調整後、折り返し連絡します。

\*どうしても、チームと一緒に受けられない選手がいる場合、代表者がその旨を連絡して頂き、下記時間帯の中なら、検査を受けられるよう善処します（基本はチーム一緒に検査を受ける）

●10月22日（木）検査時間 \*この時間帯に検査すれば当日に判定が出る為此の時間帯とする  
①、10：00～10：20 ②、10：20～10：40 ③、10：40～11：00 ④、11：00～11：20  
⑤、11：20～11：40 ⑥、11：40～12：00 ⑦、12：00～12：20 ⑧、12：20～12：40  
⑨、12：40～13：00 ⑩、13：00～13：20 ⑪、13：20～13：40 ⑫、13：40～14：00  
(多少のお時間のズレはご容赦ください)

●10月29日（木）検査時間 \*この時間帯に検査すれば当日に判定が出る為此の時間帯とする  
①、10：00～10：20 ②、10：20～10：40 ③、10：40～11：00 ④、11：00～11：20  
⑤、11：20～11：40 ⑥、11：40～12：00 ⑦、12：00～12：20 ⑧、12：20～12：40  
⑨、12：40～13：00 ⑩、13：00～13：20 ⑪、13：20～13：40 ⑫、13：40～14：00  
(多少のお時間のズレはご容赦ください)

## ②-2、検査方法タイプ1の 検査時における手順と注意事項

1) 検査を受ける大学は、検査の連絡窓口となり、チームをまとめて頂く役目の代表者を決めて頂く（主将、主務、或いは、選手内の感染対策責任者）。同時に、登録選手全員（プラス学生帯同者）の氏名・連絡先を所定の「団体戦エントリー用紙」に記入し、検査の為の事前登録をお願い致します。指導者が受けられる場合も、その方の氏名・連絡先をご記入下さい。

2) 各大学の代表者は前述した通り、10月22日と10月29日に行われるPCR検査の時間を予約し、決定した時間に登録選手（学生帯同者含）全員を 検査場所である学連事務所に集合させ、検査機関の指示に従い、速やかに全員検査を受けられるようにする。（ガイドラインには2日前とありましたが、試合間際による検査判定混乱を防ぐために今回は「3日前検査」としました。）

その際の注意事項として、

- ・採取する場所に向かう際、密になるような移動を避けること。
- ・採取の1時間前までに水以外の飲食は済ませ、必ず歯を磨いておくこと。
- ・時間厳守の徹底（1校でも遅刻すると、全てのスケジュールに影響を及ぼします）。

3) 10月22日、10月29日は検査後、その日の夜までに、検査判定（陽性・陰性）が出ます。

**③ー1、検査方法タイプ2**・・・PCR検査キットを、大学側が決めた代表者の所に送付し、その代表者の主導で、検査（唾液採取）を行い、採取後、速やかに所定の機関に返送するやり方

\*所在地が他県、都心から離れている大学

対象校：Aブロック 東北福祉大学、日本大学

Bブロック 山梨学院大学

#### ④ ー2、検査方法タイプ2の 検査時における手順と注意事項

1) 各大学の代表者（指導者か主将、主務、或いは、選手内の感染対策責任者）宛に人数分の「PCR検査キット」が、試合4日前の10月21日に届きます。また翌週の試合（10月29日）の検査キットに関しては、10月28日に届きます。

\*その為、検査キットのお届け先住所・電話番号・代表者氏名とそして登録選手全員（プラス学生帯同者）の氏名・連絡先を所定の「団体戦エントリー用紙」に記入し、検査の為の事前登録をお願い致します。指導者が受けられる場合も、その方の氏名・連絡先をご記入下さい。

2) 代表者は、必ず試合3日前の10月22日と10月29日（★朝10～13時頃までの検査実施を強く奨励）に検査を行うこと！

その代表者が定める指定の場所にて、添付された検査マニュアルに従い、選手、関係者から唾液採取を行います。

（ガイドラインには2日前とありましたが、試合間際による検査判定混乱を防ぐために今回は「3日前検査」としました。）

その際の注意事項として、

- ・採取する場所が3密にならない所であること。
- ・採取する場所に向かう際に、密になるような移動を避けること。
- ・採取する際、密にならないよう「ソーシャルディスタンス」を保つなど、十分に気を付けて行うこと。
- ・検査時間は、できる限り短時間（1時間以内）で済ませる。あまり時間が長いと、採取した検体が有効でなくなる恐れもある。\*冷蔵庫保存は最長約3時間までが限界（感染リスクもある為その冷蔵庫には他の物は入れない）。
- ・あらかじめ、キットの中に入っている「保冷剤」を事前に冷凍しておくこと。
- ・採取の1時間前までに水以外の飲食は済ませ、必ず歯を磨いておくこと。

### ③-3、検査方法タイプ2の 検査後、採取した検体の返送手順と注意事項

検査対象の全員が採取し終わったら、マニュアルに従い、採取した検体を所定の位置にセットし、梱包したら、それを本連盟が指定する検査機関の住所に速やかに送ること。その際の注意事項として、

#### ・採取した当日に必ず直ぐに送ること \*着払い(翌日午前必着で送ること)

\*検体発送を速やかに行って頂かないと、検査機関への到着が遅れ、判定結果も立ち遅れ、大きな混乱を生じます。この部分は特に留意して、迅速に発送を行って下さい。所定の時間（10月23日と10月30日16時）に到着せず、判定できない大学は、**残念ですが参加が認められません。**

よって、**検査を司る代表者は、責任を持って、検査の円滑進行、期日厳守に努め、万全の態勢で臨んで頂くことを切にお願い致します。**

発送先（既に伝票に印字されています）

〒105-0003 港区西新橋 1-5-14 内幸町ビル1

医療法人社団 天太会 チームメディカルクリニック宛 TEL03-6206-1408

問い合わせ&担当責任者：診療コーディネーター 藤原華子さま TEL080-7734-6772

・検体が、検査機関に到着したその日に、検査判定（陽性・陰性）が出ます。

### ④、検査結果判明通知（陽性・陰性）について

もしも「陽性」判定が出た場合は、検査機関より本人へ連絡があるので、日本国の様式に基づき、検査機関の指示に従った行動をとって下さい。（検査機関から保健所にも連絡されます）

また、陽性判定者は、試合には出場できないので、陽性判定の報告を部の責任者に必ず報告して下さい。

報告を受けて、責任者は出場選手の変更を速やかに本連盟に申し入れて下さい。今大会に限り、登録選手内であれば、直前（当日、第一組めスタートの30分前まで）変更を可とする。但し、「当日 選手変更届」の用紙に記入・提出すること

\*選手登録は各校10名、各日8名出場だが、同一校から2名以上、陽性者が出た場合は、クラスターの疑いとなり、その大学は出場できません。

また、報告を受けた責任者は、本連盟の所定用紙「濃厚接触チェックシート」を本人含め会場入りする全員に記入して貰い、本連盟へメール <info@ksga.jp> もしくはファックス(03-3263-4590)にて送信し、部内での濃厚接触の有無を速やかに確認し、クラスター発生防止、並びに実態把握に努める。\*保健所への回答する際、本人にとって役

に立ちます。

★陰性判定の場合は、本連盟より、その旨を事前登録された代表者にお知らせ致します。判定結果に関しては、個人情報ゆえ、基本として本人への通知となりますが、安全管理面の見地から、本連盟の感染対策責任者（常任理事 金井）だけに 全員の検査結果データが送られてきます。その旨をご承諾下さい。

## 2、試合当日の会場入場時における感染対策チェック項目

### ① 入場時の流れの説明と提出義務書類について

入場の際は、本連盟が定める所定の場所（わかりやすい場所に設置します）にて、感染対策の見地で、一人一人チェックを行います。

1) まず、所定の項目（体調面や平均体温）をきちんと記入した「**体調管理シート**」を**必ず提出**⇒シートを提出できない或いは内容が記入されていない場合入場できません。

↓

2) シート提出時・直後すぐにサーモグラフィーによる「検温」を行います。

⇒その際、シートに記載の平均体温より 1 度を超えて高い体温の者は、「再検温」の場所に回って頂き、より精度の高い検温器で再度、測り直します。それでも、前述の規定（**平均体温より 1 度を超えて高い体温**）に抵触した者は、**入場できません**。

★入場できない選手が出た場合、責任者は、前述の 6 ページにならって、出場選手の変更を速やかに行ってください。

### ②注意すべき服用薬について

以下の薬について、服用する際は重々気を付けて下さい。

- ・解熱剤・・・発熱症状があり、入場チェックを通過するための目的で事前に服用することを禁じます \*服用する場合は、入場チェック許可が出た後に服用する
- ・鎮痛剤・・・鎮痛剤の多くは解熱剤と同じ薬剤です（例 ロキソニン、パファリン、イブプロフェン、ボルタレン、インドメタシン等）。従って、肘や腰などの痛みの為に服用した場合、解熱剤と同様の体温変化が生じます。解熱剤と同様に入場チェック許可後に服用してください。普段から服用している場合は、習慣化している日々の検温にて、その状況（体温変化）を把握しておくことが望まれます。

### ③入場チェック前に必ず守って頂きたい約束事→チーム責任者へのお願い



感染対策の大切なポイントとして、責任者の方は、以下の点を必ず遵守して下さい。

- 1) 当日の朝（試合会場出発前）に、発熱症状（平均体温より1度を超えて高い場合）がある者、或いは体調を崩している者はいないか？！の確認チェック。
- 2) **上記に該当する選手・関係者をコース入りさせない。**
- 3) 「体調管理チェックシート」を忘れていないか？

### 3、試合終了後の帰る際と、帰る道中について

#### ①帰る際の注意事項

- 1) 試合終了後は、速やかに帰路につかれて下さい。
- 2) 配車に関しては、往路と同じメンバー（もしくは1人）であること。
- 3) 往路同様、車内を密閉せず、空気の循環を意識されて下さい。

#### ②無事に自宅に着くまでは、適度な緊張感をもって、安全運転に努める

ラウンド後の体力面での疲労感や、試合が終わったことへの気の緩みが、運転に少なからず影響を受けることがあると思われます。**皆さんが無事に自宅に戻ってこそ、本当の意味での競技成立だと思えます。**

安全運転に努めることはもとより、そのための普段からの仕組み作りを行って下さい。その推奨事項として、

- 1) 部内に「安全運転管理責任者」を設置し、常に注意喚起し合う環境作り。
- 2) 前日の睡眠を可能な限り、しっかり取っておく。
- 3) あらかじめ適度な休憩を 小まめに入れる道程計画 \*時間にも余裕を持つ。
- 4) 疲労感や眠気を感じた場合、空気の入替えや水分摂取を小まめに行いつつ、最寄りの休憩エリアに速やかに入って休憩する。 \*事前に眠気対策グッズ・ドリンク等を用意しておくのもよい。
- 5) 試合終了後は速やかに帰ることで、視界が明るいうちに帰路につく。
- 6) 同乗者がいる場合は、安全に運行できるよう、双方が協力し合う。
- 7) 「ガイドライン」P30の「帰路」について！も参照しておく。

### 4、その他の諸注意事項

#### ①試合中、体調に異変をきたした場合

その場合、外傷など、その理由がはっきりしている場合を除き（例えば毒虫に刺された・転んで手を怪我した 或は本人がわかっている自己疾患等）、速やかに その症状



を含めて本連盟の運営事務局に申し出ること。

\*「ガイドライン」P32 『競技会場での COVID-19 を疑う症状を発症した場合の対処マニュアル』も参照

その上で、

- ・コースから紹介頂いた近隣病院、または身近な医師に相談。
- ・救急車(119番)へ連絡しそこで適切な対応して貰う。\*このケースが最もあり得る。

## ②試合終了後の自制的な生活遵守のお願い

その日の試合が終了した後も、「ガイドライン」P22～23 と P30～31 にならって、感染対策の見地において、自制的な日常生活を過ごし、健全、健康な身体、体調管理を整えられるよう、宜しくお願い致します。

## ③正当な事由で検査が受けられない場合

所定の検査日に、「正当性ある」事由で検査を受けられない学生に対しては、

10月23日(金)と10月30日(金)に新橋内幸町のチームメディカルクリニック様で検査を受けて頂きます(但し、若干名で多人数は難しい)。

- 1) 代表者は、エントリー時に該当する者の氏名を所定の申込用紙にその理由も添えて提出
- 2) 本連盟がその理由を正当と認めた場合に限り、チームメディカルクリニック様に Web での検査申し込みを本連盟が行い、翌日金曜日に検査を受ける!段取りとなります。

\*但し、時間帯は先方の予約が空いている時間のみ(時間指定不可)。検査費用は本人立替えて、後日精算とする。(土日は休診日)

## ④「体調管理チェックシート」の開始日

- ・10月25日試合の15日前⇒10月11日(日)より開始
- ・11月1日試合の15日前⇒10月18日(日)より開始

\*よって、10月18日～10月25日の期間が重複するので2枚のチェックシートを同時に記入しておくこと。

以上となります。

本連盟としても初の試みで、皆さまには不慣れな段取りを強いらせてしまいますが、感染対策の見地で、安心・安全な競技開催を具現化する為の大切な行動指標として、ご理解頂ければ幸いです。

このコロナ禍での競技開催が、皆さまにとっても本連盟にとっても、次(未来)に繋がる有意義な開催となることを切に願っております。